

福 井 県 医 師 会

だより

第702号 令和元年(2019)12月



1986年頃の日本基督教団福井神明教会（福井市大手3丁目）

鯖江市 林 正則

表紙写真説明：1986年頃の日本基督教団福井神明教会（福井市大手3丁目）

鯖江市 林 正則

私は1970年に鳥取の日本基督教団湖山教会で洗礼を受け、その後神戸教会、そして、1982年に福井神明教会に籍を移し、今日まで信仰生活を送っています。

この教会は1891年、カナダ・メソジスト教会の講義所として開設され、15年後に教会となり今日に至っています。この絵（F4）は1986年頃の教会で、1989年に新会堂となりました。

醫 縫 録

神経発達症の概念

福井大学医学部病態制御医学講座精神医学教授 小坂浩隆



2018年5月1日付で、伊崎公德教授、和田有司教授が作り上げられてきた福井大学医学部精神医学を担当させていただくことになりました小坂浩隆と申します。福井県医師会の先生方、何卒よろしくお願ひいたします。

さて、2011年に厚生労働省は、地域医療の基本方針となる医療計画に、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病のほかに「精神疾患」を加えて「5大疾病」とする方針としました。うつ病や認知症の患者数が年々増加し、国民に広く関わる疾患として重点的な対策が必要と判断したのによります。ストレス社会や高齢社会の中で、うつ病や認知症が増えてきているのは頷けます。精神医療の現場にいる者として、もうひとつ増えていると実感しているものがあります。それは、発達障害（現在は「神経発達症 neurodevelopmental disorders」という表現になりつつあります）です。今回、その神経発達症についてお話しさせていただきます。

神経発達症には、注意欠如多動症（ADHD）と自閉スペクトラム症（ASD）などがあります。原因として、神経系の発達段階に問題があると想定されている一群で、個人的、社会的、学業または職業において機能障害を起こしている群と考えられます。つまり、就学前に神経発達症の診断がついて然りです。しかしながら、現実ではそうではありません。当の本人のほか、ご家族も保育士や学校教員も何ら問題がないと感じていたのに、青年期になって神経発達症の症状が露呈される方々がおられるのです。幼少期に小児科医から診断されたADHDやASDのお子さんたちが成人になってキャリアオーバーで担当することしか想定していなかった精神科医のわれわれも混乱している事態です。これを理解するために、3つのポイントがあると思っています。

①神経発達症は連続体である。健常とされる定型的な発達経過の方々の明確なライン引きは難しく、連続体（スペクトラム）として考えます。ASDの名称にスペクトラムがついていますがADHDも同様です。つまり、白か黒かできれいに鑑別できず、世界人類みなグレーであり、グレーの中でも白っぽい方が黒っぽい方か、それだけの違いにしかない、と考えるとわかりやすいです。

②神経発達症の症状は見え隠れする。幼少期のときに周囲の家族や教員たちが本人を守っている

（忘れ物を届ける、子ども同士の遊びに大人が仲介するなど）環境下では、症状は目立ちません。また、元来、知的レベルが高い方も学業が出来るので、家族や教員たちは心配しません。周囲の支援や知的レベルで神経発達症の症状は隠し通せるとも言えましょう。ところが、青年期になって、親元から離れて一人暮らしをはじめながら日常生活を正しつつ広がる学業に取り組み、文化的背景が異なった同級生とつきあうことや、就職して上司に怒られ続け、取引先にお世辞を述べなければならぬことは、かなりのストレスです。それを熟せずに初めて神経発達症の症状が顕在化することがあります。これがマスコミ等でも報道される「大人の発達障害」です。逆に言うと環境調整で十分に対応できるということです。

③神経発達症の症状は多岐にわたる。青年期で気づかれる際は、診断基準に記載されていない周辺症状が目立ちます。精神科医も「適応障害」、「うつ病」、「不安障害」として神経発達症に気づけないことも多くあります。さらに、高血圧、過敏性腸症候群、蕁麻疹といった「心身症」や、疼痛性障害、味覚低下、聴覚過敏などASDの中核症状の一つの感覚の問題から来る亜型である可能性もあります。そのように、精神科だけでなく身体の診療科に受診されるパターンもかなり多いです。

精神医療だけでなく、先生方の医療現場にも神経発達症の方々が受診されることが多くなってきます。標準的な治療に反応しにくい方には神経発達症も疑っていただきたいです。悩まれることがございましたら、私のほかお近くの精神科医に気軽に相談いただければと思います。

根っからの福井人である私は、福井の地域精神医療に貢献することでふるさとに恩返しをしていきたいと思っています。着任して1年半が経過してもいまだに余裕なく過ごしておりますが、福井県下の精神科医の先生方に厚く支えてもらいながら、軌道に乗ってきたと感じております。多くの先生方とともに、地域精神医療を守るべく精進していきますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。